

ブロック塀の工事に係る補助対象基準イメージ図

1 撤去の場合

対象	①公道に面しているもの	
	②地震時に倒壊のおそれがあるもの(ひび割れ、傾きがあるもの、厚みが10cm以下 など)	
③ブロック部分の高さが、基礎を除き60cmを超えるもの		
基準	①残置されるコンクリートブロックは2段以下とする	
	②残置されるコンクリートブロックは道路面からの高さ60cm未満とする	
例図	○ 良い例	× 悪い例
	<p>撤去</p> <p>▽道路GL</p>	<p>①に適合しないので補助対象外</p> <p>撤去</p> <p>残置 3段以上</p> <p>▽道路GL</p>
	<p>撤去</p> <p>残置 40cm</p> <p>道路面から60cm以上</p> <p>▽道路GL</p>	

2 改善(撤去後にフェンスなどに造り替える)の場合

基準	①造り替えるフェンス等は、安全な構造であること		
	②新設するコンクリートブロックは2段以下とする		
	③新設するコンクリートブロックは道路面からの高さ60cm未満とする		
	④フェンスメーカーの施工要領に基づくこと		
	⑤日本建築学会編集「壁式構造関係設計基準集・同解説(メゾンリー編)」に適合すること		
主な基準			
●最高高さ2.2m以下 ●フェンス部分の高さ1.2m以下 ●フェンスを支えるブロック塀のブロックの厚さ12cm以上 ●現場打ちコンクリート基礎や、フェンスを支えるコンクリートブロックには適切に鉄筋が入っていること			
例図	○ 良い例		
	<p>CB塀を利用してフェンスを固定する</p> <p>1.2m以下</p> <p>2.2m以下</p> <p>60cm未満</p> <p>2段以下</p> <p>▽道路GL</p> <p>新設CB塀 厚12cm以上</p> <p>RC基礎</p> <p>RC基礎の上にCBを積み、そのCBでフェンスの支柱を支える構造。</p>	<p>RC基礎にフェンスを固定する</p> <p>1.2m以下</p> <p>▽道路GL</p> <p>RC基礎</p> <p>RC基礎でフェンスの支柱を直接支える構造。</p>	<p>RC基礎を新設する</p> <p>▽宅地GL</p> <p>▽道路GL</p> <p>新設RC基礎</p> <p>既存基礎・擁壁</p> <p>既存の基礎や擁壁とは別に、新設するRC基礎でフェンスの支柱を支える構造。</p>
	× 悪い例		
<p>フェンス部分が1.2mを超える</p> <p>1.5m</p> <p>2.3m</p> <p>最高高さが2.2mを超える</p> <p>新設 3段以上</p> <p>道路面から60cm以上</p> <p>80cm</p> <p>▽道路GL</p>	<p>2段</p> <p>▽宅地GL</p> <p>▽道路GL</p> <p>70cm</p> <p>道路面から60cm以上</p>		

※上記は標準図です。案件個別の適否判断については、事前にご相談ください。